

男女共同参画会議 第21回重点方針専門調査会	資料3
令和元年9月18日	

(通し番号75)

「女性活躍加速のための重点方針 2019」

I 女性の活躍を支える安全・安心な暮らしの実現

3. 困難を抱える女性への支援

a) 予期せぬ妊娠などにより、不安を抱えた 若年妊婦等への支援

(厚生労働省説明資料)

若年妊婦等支援事業【新規】～不安を抱えた若年妊婦等への支援～

(令和元年度予算) (令和2年度要求額)
0百万円 → 1,598百万円

- 予期せぬ妊娠などにより、身体的、精神的な悩みや不安を抱えた若年妊婦等が、身近な地域で必要な支援を受けられるよう、SNS等を活用した相談支援等を行う。
- 若年妊婦等への支援に積極的で、機動力のあるNP0に、アウトリーチや若年妊婦等支援の業務の一部及び全てを委託するなどにより、様々な地域の実情に応じた若年妊婦等への支援を行う。

◆ 実施主体：都道府県・指定都市・中核市 ◆ 補助率：国1/2、都道府県・指定都市・中核市1/2

<事業イメージ>

地域における継続的な支援

【地域における継続的な支援】

- 福祉事務所、児童相談所、婦人相談所、子育て世代包括支援センター、要保護児童対策地域協議会等と調整し、地域における継続的な支援へつなげる。



母子生活支援施設等

【長期間の居場所の確保】

- 長期的にケアが必要な若年妊婦等に対して、出産・子育てが安定して行える環境が整うまでの居場所の確保を支援する。



都道府県・指定都市・中核市



女性健康支援センター

○ 保健師等による、より専門的な相談（電話相談・窓口相談等）

※ アウトリーチやSNS等を活用した相談支援など、機動力を活かした相談支援についてNP0に委託して実施。

連携・バックアップ



新 地域のNP0

- コーディネーターの配置：居場所の確保や地域の関係機関との調整
- 相談しやすい体制の整備：アウトリーチやSNS等による相談支援
- 特定妊婦等に対する産科受診等支援
- 次の支援につなげるまでの緊急一時的な居場所の確保
- 継続的な相談支援



緊急一時的な居場所



産科同行支援

アウトリーチ & キヤッチ

悩みを抱える若年妊婦等

連携・紹介

連携・紹介



子育て世代包括支援センター

- 地域のNP0と連携し、悩みを抱える若年妊婦等を、継続的かつ専門的な支援へと繋げる。

相談

◆ 補助単価 (案)

- ・ 相談等：月額357,600円
- ・ 夜間・休日対応：月額53,000円
- ・ 産科同行等対応：月額1,719,800円

※ 本事業の取組を女性健康支援センターが行う場合は「女性健康支援センター事業」により補助（月額1,564,500円）